

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立産業技術交流センター		
所在地	広島市中区千田町三丁目 7-47		
設置目的	県内産業の振興を図る		
施設・設備	研修室・会議室等(5室), 多目的ホール(318 m <sup>2</sup> ), 事務室(9室), 駐車場(99台)等		
指定管理者	6期目	H26.4.1~H29.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	5期目	H25.4.1~H26.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	4期目	H24.4.1~H25.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H24.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	利用件数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	6期	28	1,500件	1,358件	92件
27		1,500件	1,266件	△129件	△234件 (84.4%)
26		1,500件	1,395件	59件	△105件 (93.0%)
5期	25	1,500件	1,336件	33件	△164件 (89.1%)
	24	1,500件	1,303件	△65件	△197件 (86.9%)
3期	23	1,500件	1,368件	△67件	△132件 (91.2%)
	2期平均 20~22	1,500件	1,435件	295件	△65件 (95.7%)
1期平均 17~19	—	—	1,140件	△55件	—
16 (導入前)	—	—	1,195件	—	—
増減理由	大規模改修工事が終了し、足場等の障害が解消されたことによる増				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者からの改善要望を聞き取り	施設利用者及び訪問者 (20件)
	【主な意見】	【その対応状況】
	研修室内が全体的に暗く、書類等が見えにくい。(全室共) インターネットのスピードが遅い。 人数が多いと研修に支障がある。	当面、第1・2研修室の蛍光灯をLED照明に交換すると共に、照明器具の取付位置を下げて必要照度を確保した。(他室も順次実施する予定) 最新の機器に交換し、バージョンアップを図った。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書
	日報 (必要随時)	○ 利用料金の返還報告等
管理運営会議 (随時)	【指定管理者の意見】 利用者の利便性及び快適環境を保持するため、施設・設備機器の更新や修繕等を引き続き実施する必要がある。	
現地調査 (随時)	【県の対応】 長期保全計画に基づいて、安全面や利用者に支障をきたすものを優先して修繕を実施する。	

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減	
	6期	28	71,118	0		6期	28	55,881	3,225	
県委託料 (決算額)	6期	27	71,118	0	料金収入 (決算額)	6期	27	52,656	△2,039	
		26	71,118	1,298			26	54,695	905	
		5期	25	69,820				0	5期	25
	4期	24	69,820	△1,700		4期		24	52,259	△1,190
	3期	23	71,520	△80		3期	23	53,449	△2,237	
	2期平均 20～22		71,600	△5,096		2期平均 20～22		55,686	5,389	
	1期平均 17～19		76,696	△16,884		1期平均 17～19		50,297	△4,521	
	16 (導入前)		93,580	—		16 (導入前)		54,818	—	

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	71,118	71,118	0	
		料金収入	55,881	52,656	3,225	・利用料金制(※1) ・研修室等利用の増
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	126,999	123,774	3,225	
	支出	人件費	20,145	17,576	2,569	臨時職員の増
		光熱水費	29,578	32,518	△2,940	冷暖房機改修による減
		設備等保守点検費	26,487	26,361	126	エレベータ保守費用の増
		清掃・警備費等	34,079	34,403	△324	警備費の時間外の減
		施設維持修繕費	9,988	7,767	2,221	設備・機器の更新及び修繕による増
		事務局費	3,493	2,810	683	保守契約等の更新に伴う印紙税の増
その他		3,229	2,339	890	雑費等の増	
計(B)	126,999	123,774	3,225			
収支①(A-B)		0	0	0		
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0		
	支出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		0	0	0		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の設置目的に沿った業務実績</li> <li>○業務の実施による, 県民サービスの向上</li> <li>○業務の実施による, 施設の利用促進</li> <li>○施設の維持管理</li> </ul>	<p>利用目的等の要件が整った休館日利用のニーズに対応するため, 積極的に臨時開館を行った。</p> <p>貸会場利用者の9割強を占めるリピーターのニーズに沿って, 更新の必要性や利用ニーズの高い附属設備の整備を実施した。</p> <p>利用者の増加を図るため, 過去8年間の利用者実績を整理して今後の積極的な勧誘に備えるとともに, 電話応対等によりその一部に着手した。</p>	施設の維持修繕については利用者等の要望を受けて改善を行った。
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織体制の見直し</li> <li>○効率的な業務運営</li> <li>○収支の適正化</li> </ul>	<p>施設管理の経験が豊富な職員を常駐させ, 管理運営や苦情対応など迅速に対応した。</p> <p>管理システムの入力データを利用し手作業事務を電子化することで, 効率化に努めた。</p> <p>研修室の照明をLED化し, 運営費の節減に努めた。</p>	組織体制を確保し, 管理経費の節減を図った。
総括		利用者からサービス及び施設・設備等において積極的に意見・要望等を聴取し, 可能な限り管理運営への反映に取り組んだ。	施設管理には利用者の意見を反映させ利用者目線に立った管理運営に取り組んだ。

## 8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸会場のレイアウト・備品・駐車場等多面的な視点から, 利用者のニーズに合致した最適なプランを提示して, 満足度の高い利用につなげる。</li> <li>○建築設備機器の法定点検・自主点検を通じて, 施設機能の水準を維持するとともに, 不具合箇所の修繕や交換など最適な対応策を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用件数の目標達成に向けて, 新規顧客の獲得や継続利用の促進のため営業活動を強化していく必要がある。</li> <li>○利用者の安全確保を第一に修繕を実施していく必要がある。</li> </ul>
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設備・機器等の維持保全のため, 電気設備, 空調設備, 給排水・衛生設備, 防災設備のそれぞれについて, 法定の定期点検や日常点検保守を行い, 設備機器の劣化状況を把握して, 予防保全に重点を置いた修繕や更新を行う。</li> <li>○長期保全計画に基づいて県が行う大規模修繕工事と連携して, 建築・設備の更新周期に合わせた予防保全を図るため, 優先順位をつけて計画的な維持修繕に取り組む。</li> </ul>	○施設が老朽化しているため, 引き続き適切な施設・設備の点検を行うとともに, 指定管理者と連携し, 計画的な修繕を行っていく。